

令和6年7月23日

株式会社スカパー・エンターテイメント
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社

Dlife チャンネル 番組審議会議事録

- ・日時 令和6年6月4日(火)16:00～
- ・開催場所 東京都港区虎ノ門 1-23-1
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社 27階会議室
- ・参加者 審議委員総数 9名
出席委員数 5名
書面参加委員数 3名
欠席委員数 1名

(出席委員名)

- 委員長 村川 幹夫 ((株)オリコン ME WEB 編集本部 執行役員／編集長)
- 委員 清水 優子 (ナレーター・キャスター・(有)タイムリーオフィス代表)
- 委員 太田 美千子 ((株)講談社 第三事業本部局長)
- 委員 須貝 駿貴 (学術博士・QuizKnock)
- 委員 吉田 千佳 (ユーチューバー)

(書面参加委員名)

- 委員 名越 康文 (精神科医・評論家)
- 委員 堀越 礼子 ((株)朝日新聞社 取締役)
- 委員 パトリック・ハーラン (タレント・大学講師)

(欠席委員名)

- 副委員長 藤田 興彦 (学校法人和田実学園 元評議員)

(番組供給事業者側 参加者：ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社)

- 伊藤 由起 (編成 ディレクター)
- 高橋 朋美 (編成 マネージャー)
- 待鳥 雅之 (編成 アシスタント・マネージャー)
- 石原 亜依 (編成 スペシャリスト)
- 杉崎 晴那 (編成 コーディネーター)

- ・議題 (1) Dlife チャンネルの番組編成について
(2) 審議番組『ALERT 失踪者緊急警報』について

・議事内容

(以下、* : 委員からの意見・質問、→ : ディズニーの説明・回答)

(1) Dlife チャンネルの番組編成について

→新番組・新シーズンとして、アメリカ海軍を舞台に国家を脅かす難事件を解決へと導く大ヒット犯罪捜査ドラマ『NCIS ～ネイビー犯罪捜査班』シーズン 21 がスタート。本国アメリカで 2024 年 3 月に放送されたばかりの最新作を日本初放送。

→また、『クリミナル・マインド / FBI vs. 異常犯罪 エボリューション』シーズン 16 を TV 初放送するほか、19 世紀のカナダ・トロントを舞台にし、本国カナダではシーズン 17 まで続いている本格ミステリー・ドラマ『刑事マードックの捜査ファイル』シーズン 3&4 も放送。シーズン 4 は日本初放送でお届け。

(2) 審議番組『ALERT 失踪者緊急警報』について

・放送概要 :

2024 年 3 月 25 日(月)に日本初放送。

約 60 分×10 本

・番組内容 :

もし、あなたの大切な人が行方不明になったら…? アメリカでは毎年 60 万人もの人が行方不明になる。失踪者捜索班 MPU (Missing Persons Unit) は行方不明者の捜索を専門とする警察部隊。警察官ニッキー・バティスタは息子キースの失踪事件をきっかけに失踪者捜索班 MPU に入局し、愛する者を探す人々の失踪事件を捜査しつつ、自身もキースの捜索を続けていた。6 年後、元夫ジェイソンが青年となったキースの写真を持って現れ、彼女の世界は一転する。深い悲しみを抱えながらも、他の人に同じ経験をさせまいと命がけの捜査をする捜査官ニッキーと MPU チームを描くクライム・ミステリー。

→本国アメリカで 2023 年 1 月から放送され、シーズン 3 まで制作が決定している話題作。日本ではまだどこにも配信・放送されていない最新作を日本初放送。

→1 話完結の形式で各話において新たな失踪事件の捜査を描きながら、シーズンを通してニッキーとジェイソンが長年捜索してきた息子キースの失踪事件の真相に迫る。

→製作陣には『ブラックリスト』の製作総指揮を務めたジョン・アイゼンドレイスをはじめ、数多くの人気作を世に送り出してきたクリエイターたちが集結。そして、メインキャストには『ワンス・アポン・ア・タイム』のダニア・ラミレスと、『HAWAII FIVE-0』のスコット・カーン。

- *養子という感覚が少なく身近にもいないので愛情の深さが分からず、また子どもの誘拐もそんなにならうと、あくまで「作られた作品」という感覚で視聴していたが、どんどん気になっていった。
- *ドキドキ感やスピード感があり、女性の正義感が現代のヒーロー感を表していると感じた。
- *日本ではなかなか制作できない内容だと感じたが、ついていけないという訳ではなく、むしろ気になって、思わずネットで続きを検索してしまった。
- *アクションやサスペンスが好きなので、放送してくれて嬉しい。30代半ばの男性としてストライクの作品だった。このドラマを見るために平日働いてチャンネルを契約する、ということが理解できる。
- *新しいドラマなので、もちろん古いと感じることもなく、人種の多様性なども担保されており満足だった。メインストーリーもサブストーリーも分かりやすく、とても見やすい。
- *海外ドラマを見ようと思っている視聴者が見たい作品だと思う。ぜひ今後も Dlife でこういう作品を多く放送してほしい。
- *シーズン2が決定していることも、絶対面白いと安心して楽しめる要素だと感じた。
- *1話完結としても見られつつ、根幹となるキースの事件も気になるのでちゃんと翌週まで待てる、その塩梅がちょうどよく、とても見やすかった。
- *海外ドラマ好きには物足りない要素もあるかもしれないが、初心者の観点からすると、テレビで今放送されている、ということが大事。このドラマがファーストタッチになる人も大勢いるはずで、その人たちの中では一番のクリミナル・サスペンスとなり得る作品だと思う。
- *もっと続きが見たいと思いながら見た。現実的な部分と非現実的な部分の両サイドがあるが、ドラマだと非現実的に見ることができる。子育てで日々悩んでいたり、辛いときにドラマを見ると、自分の悩みはたいしたことないと思えることがあるが、この作品もそういう現実逃避のエンターテインメントとして楽しめた。
- *一方で、子どもの誘拐というのは、実際に無いわけではない。特にアメリカではたくさんあると思うし、自分たちに少し身近なものとして注目して見てしまった。
- *アメリカではメディアでも誘拐事件を多く取り上げられているので、親が子供を外に出さず過保護になる傾向にあるが、本当に怖いのはオンラインで誰かと繋がること。必ずしも世界に出ること自体が怖いことではなく、デバイスを持つこと、SNSの怖さを心配しないといけない、というポッドキャストで聞いた話を思い出した。
- *こういうドラマあるよな、とシンプルに楽しめた。その中でもやはり新しく、良くできていると思った。

- *1話完結のストーリーと、主軸となるキースのストーリーが良い塩梅で次が気になった。うまく最後で回収してほしいと期待感を持たせる1話目だった。
- *審議をするにあたり、真剣に見てしまったので、細かい設定など疑問に思うところもあったが、よく考えてみると、こういったドラマが好きで良く見ていた母も、真剣に食い入るように見ていたわけではなかったと思い出した。テレビの良さは、流れている番組を仕事や家事を終えてゆったりした時にエンターテインメントとして見られること。ストーリーの細かい穴は確かにあるが、テレビ番組としては良い作りになっていると感じた。リラックスして見ながらも、途中に入るアラートの大きな音で引き戻され、また物語の中に入っていける点など、構成が良い。
- *個人的にはケミという同僚のキャラクターが気に入った。魅力的なキャラクターもあり、これからの展開が楽しみだと感じた。
- *年間のアメリカの失踪者は年間60万人とあるが、日本では8万人で、子どもの失踪も年間1200人以上で近年増加傾向にある。1日あたり3~4人の子どもが失踪している計算になるので、決して他人事とも言えない時代になっているという肌感覚がある。
- *日本では近年になって養子を選ぶご夫婦も増えてきたが、まだ一般的ではなく、諸外国と比べても少ない傾向にある。養子縁組で迎えた子どもへの愛情の持って行き方という点では、日本では世代間のギャップが生まれるかもしれない。
- *テーマ性は興味深く、自分事として考えても気になるストーリーだったが、アメリカのクライムサスペンス好きとしては消化不良だった。
- *プロットがとても良いのは分かるが、もう少し演出面で重厚な作りを出せたのではないかなと感じる。キースの話が重点的な流れになった時、都度の事件に対してちょっとしたストレスを覚えてしまう可能性もあると思う。
- *70年代の映画『ジャガーノート』で有名になった時限爆弾の配線を切るシーンや、ライブイベントで大人数がいる中で犯人を捕まえるシーンなど、クラシックでベタな描写もあったが、もっと手を変えられるのではと感じてしまった。エグゼクティブ・プロデューサーにジェミー・フォックスの名前が入っており、彼がトム・クルーズと出演した映画『コラテラル』や、同じくマイケル・マン監督が手掛けた大傑作『ヒート』を連想してしまい、期待してしまった。クライムサスペンスのファンとして、セカンドシーズン以降に期待を込めて、あえて言わせてもらえればと思う。
- *日本にはまだ存在しない失踪者の緊急警報というシステムを中心とするこの展開は、日本の視聴者に興味を引くだろう。
- *毎回誰かの子供を見つけながら、結局のところ主人公は自分の子供が見つからないというありきたりの設定になるのかなと思いきや、第1話でいきなり主人公の子供が見つかり、本当に彼らの息子なのか…?と少し疑いながら、家族関係や今後の展開が気になる。

- *個人的には子供が誘拐されるというテーマのクライム・ミステリーは苦手なので、すごく緊張して見ていたが、1話完結で失踪者が無事見つかるという解決の方向に進むことによって、内容的に救いがあった。
- *「戻ったのは息子だけじゃない。過去も未来も」という言葉が非常に印象的で重い。
- *子育ての経験があるものとしては、この作品に感情移入しすぎてしまって、正直ちょっと心が痛いと感じる部分があった。
- *主人公の2人は、息子を探すときには冷静にいられなくなってしまうところがある一方で、警察官としてはプロとしてちゃんと失踪者を家族の元に返しているところを見ると、人が人生を生きていくためには、いくつもの顔を使い分けて生きなければならないって、なんて大変なことなのだろうと改めて思った。
- *ニッキーとジェイソンの2人を見ていると、この時代の恋愛関係や対人関係の難しさなどもすごくよく出ていていると感じた。

・ **審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：**

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和6年6月以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。

・ **審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：**

令和6年8月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上

